

2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月22日

上場会社名 株式会社富士テクノホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9243 URL http://www.fjt-hd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 高井 男
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩澤 隆則 (TEL)046(294)1070
 定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月30日
 発行者情報提出予定日 2023年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	2,711	14.5	49	73.0	39	196.7	32	5.0
2022年3月期	2,367	—	28	—	13	—	31	—

(注) 包括利益 2023年3月期 32百万円 (5.0%) 2022年3月期 31百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	40.50	—	31.5	2.7	1.8
2022年3月期	38.56	—	37.7	1.2	1.2

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 一百万円 2022年3月期 一百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式がないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	1,503	113	7.6	140.91
2022年3月期	1,321	93	7.1	115.41

(参考) 自己資本 2023年3月期 113百万円 2022年3月期 93百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	24	△173	32	494
2022年3月期	6	△121	376	611

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	0.00	15.00	15.00	12	38.9	13.0
2023年3月期	0.00	15.00	15.00	12	37.0	10.6
2024年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注) 2024年3月期の配当金は未定であります。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通 期	3,140	15.8	63	26.8	56	43.0	45	37.6	55.72

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	807,600株	2022年3月期	807,600株
② 期末自己株式数	2023年3月期	－株	2022年3月期	－株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	807,600株	2022年3月期	807,600株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料3ページの「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」）をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症における行動制限の緩和等により社会経済活動に回復の動きが見られましたが、ウクライナ情勢の長期化等による原材料・エネルギー価格の高騰や円安等の為替変動の影響等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中、当社グループの主要顧客である製造業は回復傾向にあり積極的な研究開発投資の増加などにより請負事業の受注増加や技術者派遣事業についても需要増加が見られ、今後の経営環境に対する期待感が強まりました。特に、技術者派遣事業については、優秀な技術者の確保を最優先事項として営業活動に取り組み、「最新技術により、ものづくり分野の業務改革に貢献する」をキーワードに、お客様のニーズに合わせたサービスを提供してまいりました。

また、2022年12月にはアイティデザイン株式会社の子会社化によりグループ会社が増加しました。

以上の結果、当連結会計年度においては、売上高2,711百万円（前年同期比14.5%増）、営業利益49百万円（同73.0%増）、経常利益39百万円（前年同期比196.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益32百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

当社グループは情報処理事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(ア) 流動資産

当連結会計年度末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ49百万円減少し975百万円となりました。これは、現金及び預金の減少116百万円、受取手形及び売掛金の増加56百万円が主な変動要因であります。

(イ) 固定資産

当連結会計年度末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ231百万円増加し527百万円となりました。これは、のれんの増加193百万円が主な変動要因であります。

(ウ) 流動負債

当連結会計年度末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ224百万円増加し728百万円となりました。これは、短期借入金の増加212百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少32百万円、未払費用の増加27百万円、賞与引当金の増加21百万円が主な変動要因であります。

(エ) 固定負債

当連結会計年度末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ63百万円減少し661百万円となりました。これは、長期借入金の減少74百万円が主な変動要因であります。

(オ) 純資産

当連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ20百万円増加し113百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益を計上したことによる利益剰余金の増加32百万円、配当金の支払いによる利益剰余金の減少12百万円が変動要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、494百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は24百万円（前年同期は6百万円の獲得）となりました。これは主として、税金等調整前当期純利益39百万円、のれん償却額19百万円、減価償却費10百万円などにより資金が増加した一方で、法人税等の支払39百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は173百万円（前年同期は121百万円の使用）となりました。これは主として、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出166百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は32百万円（前年同期は376百万円の獲得）となりました。これは主として、短期借入れによる収入283百万円、長期借入れによる収入458百万円により資金が増加した一方で、短期借入金の返済による支出121百万円、長期借入金の返済による支出571百万円により資金が減少したことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症や世界情勢の先行きには注視が必要ですが、顧客の設計開発は盛んに行われており、当社グループへの技術者要請はシステム開発を中心に増加するなど、底堅く推移しています。

そのような状況のなかで、翌連結会計年度（2024年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高3,140百万円（前年同期比15.8%増）、営業利益63百万円（前年同期比26.8%増）、経常利益56百万円（前年同期比43.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益45百万円（前年同期比37.6%増）を予想しております。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	632,710	515,924
受取手形及び売掛金	341,784	398,742
商品	16,380	15,752
仕掛品	8,615	15,685
前払費用	11,112	11,582
前渡金	12,785	8,468
その他	1,806	9,841
貸倒引当金	△270	△310
流動資産合計	1,024,925	975,686
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	10,437	17,974
工具、器具及び備品（純額）	8,198	7,689
リース資産（純額）	7,197	7,823
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	25,833	33,486
無形固定資産		
リース資産	441	-
ソフトウェア	4,597	2,056
のれん	134,078	327,394
その他	2,068	1,710
無形固定資産合計	141,185	331,161
投資その他の資産		
投資有価証券	609	609
長期貸付金	4,737	1,437
長期前払費用	1,738	818
保険積立金	60,818	68,361
保証金	28,424	39,979
繰延税金資産	26,468	45,204
その他	6,620	6,630
投資その他の資産合計	129,417	163,041
固定資産合計	296,436	527,689
資産合計	1,321,361	1,503,376

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,991	28,775
短期借入金	-	212,000
1年内返済予定の長期借入金	191,348	158,946
リース債務	3,619	1,763
未払金	3,693	3,255
未払費用	137,792	165,519
未払法人税等	21,584	7,925
未払消費税等	49,444	53,917
賞与引当金	51,852	73,358
その他	16,648	23,106
流動負債合計	503,975	728,568
固定負債		
長期借入金	674,360	599,978
繰延税金負債	-	475
リース債務	4,403	6,951
退職給付に係る負債	45,413	53,604
固定負債合計	724,177	661,009
負債合計	1,228,152	1,389,578
純資産の部		
株主資本		
資本金	81,865	81,865
資本剰余金	1,180	1,180
利益剰余金	10,162	30,752
株主資本合計	93,208	113,798
純資産合計	93,208	113,798
負債純資産合計	1,321,361	1,503,376

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	2,367,423	2,711,586
売上原価	1,867,180	2,141,678
売上総利益	500,242	569,908
販売費及び一般管理費	471,525	520,235
営業利益	28,716	49,672
営業外収益		
受取利息及び配当金	168	34
助成金収入	11,190	3,644
その他	3,014	2,004
営業外収益合計	14,372	5,683
営業外費用		
支払利息	10,030	7,697
支払手数料	17,999	7,749
その他	1,859	748
営業外費用合計	29,889	16,196
経常利益	13,199	39,159
特別利益		
保険解約返戻金	47,256	-
固定資産売却益	-	533
債務免除益	-	974
特別利益合計	47,256	1,507
特別損失		
固定資産除去損	-	873
特別損失合計	-	873
税金等調整前当期純利益	60,456	39,793
法人税、住民税及び事業税	33,347	25,350
法人税等調整額	△4,031	△18,260
法人税等合計	29,315	7,089
当期純利益	31,140	32,703
親会社株主に帰属する当期純利益	31,140	32,703

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	31,140	32,703
包括利益	31,140	32,703
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	31,140	32,703

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	81,865	1,180	△11,286	71,759	71,759
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			31,140	31,140	31,140
剰余金の配当			△9,691	△9,691	△9,691
当期変動額合計	—	—	21,449	21,449	21,449
当期末残高	81,865	1,180	10,162	93,208	93,208

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	81,865	1,180	10,162	93,208	93,208
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			32,703	32,703	32,703
剰余金の配当			△12,114	△12,114	△12,114
当期変動額合計	—	—	20,589	20,589	20,589
当期末残高	81,865	1,180	30,752	113,798	113,798

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	60,456	39,793
減価償却費	18,319	10,478
のれん償却額	10,028	19,396
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△300	40
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,977	18,797
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,696	8,191
受取利息及び受取配当金	△168	△33
支払利息	10,030	7,697
支払手数料	16,499	6,750
保険解約返戻金	△47,256	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△30,939	△3,027
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,676	△6,442
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,596	△6,215
未払費用の増減額 (△は減少)	△8,798	9,481
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△1,718	△1,815
その他	△4,435	△31,690
小計	42,663	71,400
利息及び配当金の受取額	168	33
利息の支払額	△10,030	△7,697
法人税等の支払額	△26,123	△39,109
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,678	24,627
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	10,169	-
有形固定資産の取得による支出	△1,311	△5,242
有形固定資産の売却による収入	-	873
無形固定資産の取得による支出	△200	△1,434
無形固定資産の売却による収入	-	416
貸付けによる支出	△860	△20
貸付金の回収による収入	1,582	4,320
保険積立金の積立による支出	△6,198	△6,247
保険積立金の解約による収入	129,410	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△253,873	△166,542
その他	207	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△121,072	△173,876
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	283,000
短期借入金の返済による支出	-	△121,000
長期借入れによる収入	535,000	458,417
長期借入金の返済による支出	△142,289	△571,951
リース債務の返済による支出	△6,593	△3,889
配当金の支払額	△9,691	△12,114
財務活動によるキャッシュ・フロー	376,426	32,462
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	262,032	△116,786
現金及び現金同等物の期首残高	349,032	611,064
現金及び現金同等物の期末残高	611,064	494,277

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。この変更による連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

当社グループは情報処理事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	115.41円	140.91円
1株当たり当期純利益	38.56円	40.50円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	31,140	32,703
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	31,140	32,703
普通株式の期中平均株式数 (株)	807,600	807,600

(重要な後発事象)

該当事項はありません。